

平成 20 年のテングサ作柄について

伊豆分場では、伊豆半島のテングサの作柄を予察するために平成 20 年 3 月下旬から 4 月中旬に、稲取地区の大川、下田地区の白浜、外浦、須崎、南伊豆地区の伊浜、松崎地区の雲見、岩地、西伊豆地区の田子の計 8 地区、23 箇所にてテングサの生育状況を調査しました。調査は、潜水によりテングサの着生面積・密度を観察し、各漁場内の平均的と思われる場所 1 m²のテングサ重量と平均藻長の測定を行いました。各地区のテングサ生育状況は以下に、漁場毎の着生量と平均藻長を第 1 表のとおりです。

大川:(H17: 1 m²着生量 1,405g、平均藻長 18.5cm H20:1,713g、21.7cm)
平成 17 年と比較して、北川境で着生量が増加しているが、他の漁場ではおおむね前回並みである。並から増産と予想される。

白浜:(H19:着生量 1,250g、藻長 15.1cm H20:247g、14.5cm)釜の下、ザーザー根はカジメ・モク群落となっており、板見増殖場は密度薄く着生量が減少している。昨年並みと予想される。

外浦:(H19:2,700g、18.7cm H20:1,480g、19.0cm)釜の浦では着生面積は広く密度も高いが、モト根では砂地の転石にわずかに生育している。藻長は昨年と変わらないものの、着生量が半減しているため、減産と予想される。

須崎:(H19:2,250g、19.1cm H20:1,560g、21.0cm)中間は生育面積は広いが、イゲンダでは生育面積が減少している。藻長は昨年と変わらないものの、着生量が減少しており、減産と予想される。

伊浜:(H19:2,200g、20.3cm H20:3,350g、23.2cm)着生量が増加しており増産と予想される。藻質も一部にスミクサが見られるものの、おおむね良好と思われる。

雲見:(H19:1,760g、18.4cm H20:2,660g、17.7cm)着生量はおおむね増加しているが着生密度が高くない場所も見られるため、地区全体では前年並みから増産と予想される。

岩地:(H19:3,100g、18.6cm H20:3,880g、15.7cm)テングサが広範囲に広がり密度も高く着生量が増加しているため増産すると予想される。藻質は一部にスミクサが見られるものの概ね良好であった。

田子:(H19:1,665g、19.7cm H20:2,867g、19.4cm)テングサが広範

圃に広がり密度も高く着生量が増加しているため増産すると予想される。藻質はスミクサが見られる。

全体の予想：平成 20 年のテングサの作柄を、以下のように予察しました。「伊豆南部では不良、西海岸では良好、県全体としては良好と予想される。」

第1表 テングサ作柄調査結果

地区	漁場名	平成 20 年			平成 19 年			平成 20 年 作柄予察 (前年対比)
		着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	
大川*	サバ根	1,160	18.5	6.8	1,920	19.4	6.5	並・増 (H17年 比)
		2,550	22.9	11.9	1,260	17.7	9.5	
	タキシタ	1,290	23.8	10.9	1,830	21.5	8.0	
	北川境	1,850	21.5	10.8	610	15.5	9.5	
白浜	釜の下	260	10.3	6.6	0	-	9.3	並
	ザーザー根	80	15.4	3.7	1,500	17.6	4.0	
	板見増殖場	400	17.8	8.8	1,000	12.5	7.1	
外浦	釜の浦	1,880	18.2	4.3	2,500	17.9	3.9	減
	モト根	1,080	19.8	6.7	2,900	19.5	3.2	
須崎	中間	1,600	21.5	6.0	1,800	18.5	3.3	減
	イゲンダ	1,520	20.4	3.0	2,700	19.7	3.3	
伊浜	大久保	3,100	19.9	4.5	1,800	19.6	9.0	増
	宇留井島西	4,000	26.4	6.0	2,600	21.0	4.5	
雲見	ミツイシ	3,600	25.6	12.0	-	-	-	並・増
	イガミ	2,900	19.4	9.7	-	-	-	
	穴沖	-	-	-	1,600	18.0	8.6	
	赤島	2,400	19.4	7.7	1,700	19.6	8.1	
	島内(三日月)	2,700	11.2	3.6	1,300	16.7	6.3	
	島内(穴沖)	-	-	-	2,300	21.2	7.4	
	キガシタ	1,700	13.0	7.2	1,900	16.6	5.7	
岩地	ハギヤ浜 北	2,980	13.4	2.4	3,100	15.3	2.4	増
	ハギヤ浜 南	4,280	18.1	2.4	3,400	19.6	2.7	
	ノウガハマ	4,380	15.6	4.2	2,800	20.9	4.7	
田子	シケンバ	-	-	-	1,380	17.3	8.6	増
	三ノ浦	3,200	20.2	9.5	1,960	19.5	9.2	
	オヤマ合せ	3,000	21.9	13.0	1,500	23.3	11.6	
	今山	2,400	16.2	8.6	1,820	18.8	8.0	

大川は平成 17 年との比較